

教育行政報告

最近の教育行政について報告いたします。

○ 最近の学校の様子について

1学期は、大きな事故もなく、各校で予定されていた行事等が滞りなく行われ、子どもたちも元気に過ごすことができました。7月23日から夏季休業に入りましたが、7月24日からの記録的な大雨は、部活動や保護者面談に影響が出たものの、児童生徒に人的被害はなく、安心いたしました。また、命に関わる大きな事故もなく、安全に過ごすことが出来ました。

8月26日から2学期が始まりましたが、昨年度に引き続き、熱中症予防や体調面への気配りと暑さ対策を講じるほか、急激な天候の変化も予測されるため、状況に応じた対応を迅速に行って参ります。2学期は、小学校では自然教室や修学旅行、学習発表会、中学校では学校祭などの大きな行事を予定しております。また、平沢小学校と金浦小学校は、創立150周年記念式典を行う予定であります。子どもたち一人一人が充実した学校生活を送ることができるよう、各小・中学校と密接な連携を継続して参ります。

また、教育支援センター「ぱすてる」には、現在小・中学生13名が通室しております。学校以外での学びの場を保障する目的としての効果は大きく、保護者からも感謝の声が届いております。今後も学校、関係機関と十分な連携を図り、不登校児童生徒数の減少に努めて参ります。

○ 児童生徒による各種大会等の結果について

6月30日、県営陸上競技場で行われた全国小学生陸上競技交流大会秋田県予選会において、男子コンバインドB（走り幅跳び・ジャベリックボール投げ）で、象潟小学校6年生が優勝、女子コンバインドA（走り高跳び・80mハードル）で、院内小学校6年生が2位、金浦小学校6年生が3位に入賞しております。

また、7月13日から15日に開催された中体連県総合体育大会における陸上

競技で、仁賀保中学校2年生が男子共通3000mで第2位、水泳競技では、象潟中学校3年生が女子200m背泳ぎと100m背泳ぎで2位となり、8月9日から11日に開催された東北大会に出場しております。

7月6日の全日本吹奏楽コンクール秋田県中央地区大会では、仁賀保中学校と金浦中学校が金賞を獲得し、県大会に出場しております。

○ 国指定天然記念物「象潟」の追加指定等について

6月24日、国の文化審議会において、史跡名勝天然記念物に関する審議が行われ、国指定天然記念物「象潟」の追加指定等について答申がありました。この答申を受け、後日の官報告示を経て、正式に追加指定等となります。

本件は、象潟前川地区景観保全型ほ場整備事業に係る調査に伴い、新たに確認された2つの島を追加指定するとともに、昭和9年の指定当時の地番から、現在の土地登記簿の地番に合わせる手続きで、この結果、天然記念物「象潟」の島の数は、全部で105島となります。

○ 防災体験講座について

7月6日と7日、1泊2日の日程で、金浦公民館を会場に公民館と防災課が連携し、防災体験講座を開催しました。自治会役員や民生委員などを含む延べ43名の参加がありました。ハザードマップの見方を学んだほか、炊き出し体験や宿泊体験を行い、炊き出しや段ボールベット等の組み立て作業は6つのグループを作って体験するなど、有事に際しての危機管理や避難所運営のノウハウを学ぶ、大変有意義な講座となりました。

○ WRO Japan 2024秋田中央地区予選会について

7月21日、国際ロボットコンテストWRO公認予選会が、総合福祉交流センタースマイルを会場に開催されました。本大会は、子どもたちの創造性と課題解決能力を育成することを目的に2010年から実施しています。

小学生部門には本市から3校7チーム、中学生部門には本市と由利本荘市から4校9チーム、高校生部門には2チームが参加し、ロボットの組み立てとプログラミングによる高度な課題のクリアを目指し、その技術を競い合いました。

結果は、エレメンタリー（小学生）部門の優勝チームは象潟小学校で、ジュニア（中学生）部門では仁賀保中学校、シニア（高校生）部門は市内在住高校

生の3校連合チームとなり、優勝したこの3チームは8月24日と25日に富山県で開催された全国大会に出場し、高校生の3校連合チームが決勝ラウンド進出という成績を残しております。

○ 第40回奥の細道象潟全国俳句大会について

「奥の細道象潟全国俳句大会」は、今年で40回目の開催を迎えました。8月3日に記念大会として、九十九島と蚶満寺を巡っての吟行句会、象潟公民館では子どもの部と一般の部の表彰式と講演会をそれぞれ開催しました。

子どもの部には、市内小・中学校全7校から707句の投句があり、秋田県現代俳句協会幹事の齋藤みどり氏に選評をしていただきました。

一般の部では、全国各地の189人から377句の投句があり、公益社団法人俳人協会評議員の岸本尚毅(きしもと なおき)氏に講演及び選評をしていただきました。

また、吟行句会では、入選3句、子どもの部では特選3句、秀逸10句、佳作15句、一般の部では特選3句、秀逸10句、佳作20句を入選句として授賞式を行い、特選の6句については、今後1年間、蚶満寺境内の看板に掲示し披露いたします。

○ 青少年育成にかほ市民会議リーダー研修会について

8月8日から1泊2日の日程で、市内3中学校の生徒会役員等を対象に、リーダーとしての自覚を高めること、他校生徒との交流を通して連帯意識の高揚と資質の向上を図ること、ふるさとの魅力について学ぶことを目的に研修会が行われました。

今年度は、松島町の中学生10名が訪れ、本市中学生11名と寝食を共にし、学びと交流を深めております。

初日は、白瀬南極探検隊記念館と象潟郷土資料館を訪れ、白瀬記念館では常設展示の見学とリニューアルしたオーロラドームの映像鑑賞、郷土資料館では企画展「おくのほそ道 最北の地・象潟」と「池田修三作品展」を見学しております。

2日目は、仁賀保高校生徒会の協力を得て、「にかほ市と松島町の未来をより良いものにしよう」というテーマでグループワークを行い、今後の生徒会活動において幅広い視野を持って取り組んでいくことができるような、有意義な研

修となりました。

また、道の駅「ねむの丘」の温泉で、松島町の生徒たちは、海に沈む夕日に感動しておりました。

○「米村でんじろう実験教室」について

8月10日と11日の2日間、総合福祉交流センタースマイルを会場に開催し、10日は「回転の科学～手作りこまでバトルしよう～」、11日は「飛ばして遊ぼう！～古代の道具『カタパルト』作りにチャレンジ～」をテーマに、両日とも午前と午後のそれぞれ2回、計4回の教室を実施しました。延べ219人の来場者がそれぞれのキットを製作し、その成果を競い合いながら、科学の楽しさと奥深さを体験しました。

テレビ出演等で著名な米村でんじろう先生の実験教室から、多くの不思議に触れるこうした体験は、子どもたちの将来のさまざまな考える力の糧となるものと考えております。

○ 金浦高齢者学級 e スポーツ体験について

8月20日に、仁賀保高校 e スポーツ部の生徒が講師となり、金浦福寿大学の授業を行いました。脳トレや太鼓の達人、ボーリング、オリンピック種目のゲームに挑戦し、頭と体を存分に刺激する体験会を実施しました。最初は戸惑いながらのプレイでしたが、高校生からの指導を受け、慣れてきたころには腕前もかなり上達しておりました。

当日の様子はテレビや新聞等のメディアでも紹介され、広くアピールできており、今後は、健康推進や介護、認知症予防の分野とも連携を図り、e スポーツの活用と普及に努めていくとともに充実した内容にしていきます。今後も地域の高齢者と児童・生徒が共に学び、楽しめるような内容を企画して参ります。

○ 第12回鳥海山伝承芸能祭の開催について

9月1日、仁賀保勤労青少年ホームを会場に開催いたしました。

今年度は、国指定重要無形民俗文化財「小滝のチョウクライロ舞」や金浦神楽のほか、このたび先日秋田県民俗芸能協会から功労者表彰を受けた横岡番楽及び釜ヶ台番楽の市内4団体が出演し、約150人の観客が、地域に伝わ

る伝統芸能を鑑賞しました。

こうした発表機会を通じて、伝承芸能の保存継承と後継者育成のきっかけとなることを期待するものであります。

○ にかほミュージアム連携協議会事業について

市内ミュージアム施設5館で構成する、にかほミュージアム連携協議会の主催で、7月20日から9月1日までの期間、本市特産品が当たるスタンプラリーに加え、小学生の夏休み自由研究応援企画を開催しました。

この企画は、本市の先人や科学の不思議など、各館で設定したテーマを子どもたちがワークシートを持って調べる内容としたもので、期間中、市内外から延べ14,751人が各ミュージアムを訪れ、調べ学習とともに楽しんでいただきました。

○ 移動図書館サービス事業について

7月には、市内高齢者施設に県立図書館の貸出セットと図書館こぴあの蔵書本を活用し、50冊の書籍を1か月間貸し出す移動図書館サービスを開始しています。

施設利用者からも大変好評で、今後も継続してサービスを展開していきます。アンケートなどにより、さらに喜ばれる事業となるよう工夫を重ねて参ります。

○ 市民文化祭について

今年度は、創作・体験コーナーやバザー、お茶会に加え、飲食コーナーを再開し、コロナ禍前とほぼ同じ形で行う予定で準備を進めております。3年目となる参加型交流イベントも総務課や仁賀保高校と連携し、『eスポーツ体験イベント』を「エスパーク★にかほ」を会場に開催する予定であります。

「発表部門」は、10月26日と27日の2日間、仁賀保勤労青少年ホームを会場に開催し、「展示部門」は、11月2日から4日までの3日間、3公民館3体育館での開催となります。発表部門においては、ユーチューブによるアーカイブ配信も予定しております。